

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 理研グリーン

コード番号 9992 URL <http://www.rikengreen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菊島 昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 細川寛治

TEL 03-3833-6321

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
22年3月期第2四半期	5,648	0.9	167	74.8	181	64.8	74	100.2
21年3月期第2四半期	5,600	—	95	—	109	—	37	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	11.27	—
21年3月期第2四半期	5.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
22年3月期第2四半期	9,420	5,181	54.3	773.37
21年3月期	9,102	5,115	55.6	764.29

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,119百万円 21年3月期 5,059百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	5.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	11,700	2.3	250	90.8	270	59.8	80	—	12.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	6,691,300株	21年3月期	6,691,300株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	71,900株	21年3月期	71,870株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	6,619,415株	21年3月期第2四半期	6,630,707株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想には本資料の発表日現在の将来に関する見直しに基づく予想が含まれておりますので実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

経営成績の分析

当第2四半期累計期間における我が国経済は、輸出の回復の動きや在庫調整の進展などによる持ち直しを背景に、景気回復の兆しがみられるものの、設備投資や消費、雇用は引き続き低迷しており、先行きに予断を許さない状況下にありました。

このような経済情勢のなか、当社グループを取り巻く事業環境は、ゴルフ場業界では経営合理化の一段の強化、製紙業界では減産の継続、また緑化工事業界では公共、民間工事ともに減少が続き、依然として厳しい状況で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは総力を挙げて新剤の上市と拡販を図るとともに徹底した経費削減により利益の確保に努めました。この結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は56億4千8百万円（前年同期比0.9%増）となりました。利益面につきましては、連結営業利益は1億6千7百万円（前年同期比74.8%増）となり、連結経常利益は1億8千1百万円（前年同期比64.8%増）となりました。また四半期純利益は7千4百万円（前年同期比100.2%増）となりました。

当第2四半期累計期間における事業の種類別セグメントの概況については、以下のとおりであります。

〔緑化関連薬剤・資材事業〕

主要需要先のゴルフ場業界は、地域間格差があるものの、景気低迷による来場者数の伸び悩みに加え、プレー料金の低価格傾向が続いているため、ゴルフ場の運営コストの削減など経営合理化が一段と強まり、依然として厳しい状況にありました。道路、鉄道等の緑地分野においても、先行き不透明な経済環境からコスト管理が一段と厳しくなりました。

このような状況下、当事業は、主要除草剤「ウェイアップフロアブル」、「ダブルアップDG」、抑草剤「ショートキープ液剤」などの主力商品に加え、ゴルフ場での評価が高い新規剤の除草剤「サブライズフロアブル」、殺菌剤「ガイア顆粒水和剤」、殺虫剤「アストロ乳剤」などの拡販に努めました。この結果、当事業の売上高は43億8千8百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は3億1千1百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

〔産業用薬品事業〕

主要需要先の製紙業界は、景気低迷による紙・板紙の需要減少に対応した大幅な減産体制が続きました。

このような状況下、当事業は製紙用薬品のスライムコントロール剤、家庭紙向け剥離コーティング剤、異物除去剤、紙力増強剤等の新規開拓および拡販に努めました。この結果、当事業の売上高は7億8千1百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は5千万円（前年同期比56.9%増）となりました。

〔土木緑化工事事業〕

主要受注先の公共事業は、発注工事の減少や低価格化の影響による企業間の受注競争の激化が続きました。またゴルフ場関連工事を含めた民間工事でも同様に受注が減少傾向にありました。

このような状況下、当事業はゴルフ場関連工事のほか、防災公園、校庭緑化工事等の環境対策事業の受注活動に努めました。この結果、受注工事高は6億1千2百万円（前年同期比18.7%減）、完成工事高は前年から繰越した大型工事完成により3億1千6百万円（前年同期比118.0%増）、営業損失は5千2百万円（前年同期は営業損失5千9百万円）となりました。

〔その他事業〕

その他事業は、保険代理業・リース業および食品添加物の販売などであり、当事業では景気低迷による設備投資減少などにより売上高は1億6千1百万円（前年同期比1.4%減）、営業損失は2百万円（前年同期は営業利益3百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は94億2千万円で、前連結会計年度末に比べ3億1千7百万円の増加となりました。

これは、流動資産が4億3百万円の増加、固定資産が8千5百万円の減少によるものです。流動資産の増加は、現金及び預金8億6千1百万円、たな卸資産1億8百万円等の増加、受取手形及び売掛金5億3千5百万円の減少等によるものです。

固定資産の減少は、投資その他の資産8千4百万円の減少等によるものです。

負債は42億3千9百万円で、前連結会計年度末に比べ2億5千2百万円の増加となりました。

これは、流動負債が3億5千3百万円の増加、固定負債が1億1百万円の減少によるものです。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金2億2千1百万円、未成工事受入金1億1千4百万円等の増加等によるものです。

固定負債の減少は、長期リース債務9千5百万円の減少等によるものです。

純資産は51億8千1百万円で、前連結会計年度末に比べ6千5百万円の増加となりました。

これは四半期純利益7千4百万円による利益剰余金の増加等によるものです。

この結果、自己資本比率は54.3%、1株当たり純資産額は773円37銭となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、前連結会計年度末に比べ営業活動により9億9千4百万円増加、投資活動により2百万円増加、財務活動により1億3千4百万円減少し、現金及び現金同等物は8億6千1百万円の増加となり、現金及び現金同等物の第2四半期連結会計期間末残高は16億6百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億9千4百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1億8千5百万円、売上債権の減少6億5千3百万円、仕入債務の増加2億1千8百万円等の資金の増加に対し、たな卸資産の増加1億8百万円等の資金の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2百万円の増加となりました。これは、有形固定資産の取得による支出4百万円、投資有価証券の売却による収入8百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億3千4百万円の減少となりました。これは、短期借入金の減少2千万円、長期借入金5千7百万円の返済及び配当金の支払い3千3百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く事業環境の先行きが不透明なこともあり、現時点では、平成21年5月15日に発表しました通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる売上高、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,607,742	746,160
受取手形及び売掛金	2,534,593	3,069,821
リース投資資産	305,919	326,458
商品及び製品	1,116,925	1,278,654
仕掛品	52,117	41,923
原材料及び貯蔵品	190,434	134,849
販売用不動産	10,745	10,745
未成工事支出金	349,691	144,847
その他	145,288	164,056
貸倒引当金	△30,167	△37,770
流動資産合計	6,283,291	5,879,745
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,147,349	1,147,349
その他（純額）	417,231	406,997
有形固定資産合計	1,564,580	1,554,346
無形固定資産		
のれん	139,403	146,931
その他	14,266	17,900
無形固定資産合計	153,669	164,832
投資その他の資産		
投資有価証券	358,867	327,849
リース投資資産	416,019	527,703
ゴルフ会員権	274,397	272,687
その他	554,813	557,016
貸倒引当金	△185,406	△181,574
投資その他の資産合計	1,418,691	1,503,682
固定資産合計	3,136,941	3,222,860
資産合計	9,420,233	9,102,605

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,965,795	1,744,540
短期借入金	80,156	123,351
リース債務	322,524	329,841
未払法人税等	117,842	31,867
賞与引当金	148,614	134,801
その他	433,515	350,461
流動負債合計	3,068,449	2,714,863
固定負債		
長期借入金	37,664	71,612
リース債務	474,251	569,316
退職給付引当金	446,624	438,892
役員退職慰労引当金	143,955	132,430
その他	68,263	59,679
固定負債合計	1,170,759	1,271,930
負債合計	4,239,208	3,986,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,428	1,102,428
資本剰余金	1,328,851	1,328,851
利益剰余金	2,639,765	2,598,287
自己株式	△18,713	△18,728
株主資本合計	5,052,331	5,010,838
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	66,924	48,343
評価・換算差額等合計	66,924	48,343
少数株主持分	61,768	56,630
純資産合計	5,181,024	5,115,812
負債純資産合計	9,420,233	9,102,605

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	5,600,017	5,648,001
売上原価	4,153,603	4,202,894
売上総利益	1,446,414	1,445,106
販売費及び一般管理費	1,350,782	1,277,948
営業利益	95,632	167,158
営業外収益		
受取利息	1,471	304
受取配当金	3,434	2,144
受取賃貸料	11,130	9,608
負ののれん償却額	756	—
持分法による投資利益	86	—
雑収入	4,878	6,455
営業外収益合計	21,757	18,513
営業外費用		
支払利息	5,018	2,847
持分法による投資損失	—	1,533
雑損失	2,510	278
営業外費用合計	7,529	4,659
経常利益	109,860	181,012
特別利益		
固定資産売却益	91	141
投資有価証券売却益	6,051	3,465
貸倒引当金戻入額	—	3,260
受取保険金	7,757	20
その他	1,500	—
特別利益合計	15,400	6,887
特別損失		
固定資産売却損	889	—
固定資産処分損	1,460	56
投資有価証券評価損	8,650	1,249
ゴルフ会員権評価損	—	1,150
その他	34	—
特別損失合計	11,034	2,456
税金等調整前四半期純利益	114,226	185,443
法人税等	75,252	109,318
少数株主利益	1,711	1,530
四半期純利益	37,262	74,594

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	114,226	185,443
減価償却費	41,853	45,931
のれん償却額	6,770	7,527
引当金の増減額 (△は減少)	9,519	29,299
受取利息及び受取配当金	△4,905	△2,449
支払利息	5,018	2,847
持分法による投資損益 (△は益)	△86	1,533
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,016	△3,465
投資有価証券評価損益 (△は益)	8,650	1,249
固定資産売却損益 (△は益)	—	△141
売上債権の増減額 (△は増加)	697,087	653,091
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△504,410	△108,895
仕入債務の増減額 (△は減少)	224,496	218,893
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,063	13,904
その他	3,894	△41,123
小計	578,034	1,003,646
利息及び配当金の受取額	4,905	2,449
利息の支払額	△5,018	△2,847
法人税等の支払額	△215,180	△9,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	362,740	994,214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,606	△4,372
有形固定資産の売却による収入	345	150
投資有価証券の取得による支出	△3,040	△725
投資有価証券の売却による収入	17,441	8,428
子会社株式の取得による支出	△120	—
貸付金の回収による収入	487	—
無形固定資産の取得による支出	—	△235
その他	3,708	△959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△783	2,285
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△50,000	△20,000
リース債務の返済による支出	—	△24,565
長期借入金の返済による支出	△41,613	△57,143
配当金の支払額	△33,312	△33,205
自己株式の売却による収入	—	39
自己株式の取得による支出	△3,254	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,179	△134,917
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	233,777	861,582
現金及び現金同等物の期首残高	962,847	745,160
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,196,624	1,606,742

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	緑化関連 薬剤・ 資材事業 (千円)	産業用薬品 事業 (千円)	土木緑化 工事事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,452,053	838,786	145,077	164,100	5,600,017	—	5,600,017
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,169	—	—	—	5,169	(5,169)	—
計	4,457,222	838,786	145,077	164,100	5,605,187	(5,169)	5,600,017
営業利益又は 営業損失(△)	297,421	31,943	△59,400	3,214	273,179	(177,546)	95,632

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	緑化関連 薬剤・ 資材事業 (千円)	産業用薬品 事業 (千円)	土木緑化 工事事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,388,487	781,339	316,303	161,871	5,648,001	—	5,648,001
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,366	—	—	—	27,366	(27,366)	—
計	4,415,853	781,339	316,303	161,871	5,675,367	(27,366)	5,648,001
営業利益又は 営業損失(△)	311,308	50,117	△52,079	△2,958	306,387	(139,229)	167,158

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。